



☆平成28年度☆☆☆☆☆☆☆
YURIKAGO通信
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 《5月号》
 H28.4.25 東京ゆりかご幼稚園



28年度、、、素敵な1年に！

28年度がスタートし2週間、新入園児さんも緊張と不安な表情から、少しずつ笑顔が増えてきたようです。進級園児さんは春の園庭で様々な生き物を発見し、思いきり体を動かしながら思い思いのあそびに没頭しております。対面式では、全園児がホールに集まり、「これから1年間仲良く楽しく過ごしていきましょう！」という気持ちを伝え合いました。

素敵な1年間になりますよう…



対面式は歌やレクをして楽しく過ごしました。帰りはアーチの間を…

春の里山

「おはようございます！」元気なご挨拶と共に園舎門を通ると、子ども達は目の前に広がる里山が日々変化していることに気づきます。入園式には新芽の間から遠くが見通せるほどで、ヤマザクラの淡いピンクが彩りを添えていましたが、2週間後には鮮やかな萌黄色に染まりました。四季を感じ四季と共に過ごす幼児期の大切さを表す象徴的な風景です。1年を通し四季折々の行事や文化に触れていきます。



4/11

4/22

何の動物の足跡？

3月下旬、園庭の各所に見たことのない無数の足跡を発見しました。タヌキ、キツネ、アナグマ、ノウサギ、、、夜に遊びに来る動物たちとはどこか違うこの足跡、、、いったい誰の仕業か？図鑑で調べてもわからず、防犯カメラや動物用暗視カメラで確認しても特定できずに諦めていると、4月上旬に、今度は園舎の前にたくさん発見しました。そこでようやくわかりました。卒園式と入園式の日のお母様方のハイヒールだったのです！確かに卒園式には子ども達の思い出の場所を巡り、森やヤギの前、ブランコなど様々な場所で記念撮影をされていました。また、入園式は前日に大雨が降ったこともあり、園舎近くにも沢山の足跡が鮮明に残ったのでしょうか。なぜこんな簡単なことが分からなかったのか…。正体がわかると何とも間抜けな話に聞こえますが、日頃様々な動植物の気配を感じながら生活していると、観点が自然基調になり、感性が野生化していくということでしょうか！？



自給自足型給食 ～ 2年目の取り組み～

本日より給食がはじまりました。園児が種を蒔き、畑の新野さんと育てて収穫した春野菜が少しずつお皿にのりまです。なお、本日お配りした献立表にはこの自家野菜メニューは掲載されません。収穫時期がずれることもあるため、その時期に採れる野菜を調理師さんが見て検討し、できるだけ素材の味を崩さないよう調理して献立に加えます。園児は、お当番さんが職員室にやかんを取りに来た時に、その日の自家野菜がどこに入っているかを絵で確認し、クラスの皆に伝えます。畑も昨年より拡張し種類も増えていきます。どうぞお楽しみに！



ダイコンの種まき

4月の様子…詳しくはブログをご覧ください！



年少さん、、、年長さんと登園！ 朝の会

園庭めぐり

園庭遊びも…



どんどん、、、広がっていきます！

こいのぼり製作

防災訓練



年中さんは磯沼ファームへ！年少の頃から延期続きでしたがようやく！！いっぱい見て触れ合って牛さん羊さんと仲よくなりました！牛乳も美味しかった！！



年長さんは七国町探検へ！コースを変え宇津貫公園を往復し、幼稚園周辺の町なみを知ることができました。約9000歩。年長の1日平均約20000～30000歩に比べたいしたことはありませんが、山道になれている当園児にとってはアスファルトはやや単調！しかし列でしっかり歩くという大切な経験もできました！

～お昼を食べるスタイルのいろいろ～

色々な場所で、スタイルでお弁当や給食を頂きます。単調な「食べる」という活動に、環境の変化を持たせ、楽しく食べられる工夫をすることも食育の大切な要素です。



お部屋で

アウトドアキッチンで

芝生で

テッペンひろばで

～学年の様子についてお知らせします～

☆年少さん・・・

新入園のお子様も園生活に徐々に慣れ始めたことでしょう。しかし、お子様によっては環境の変化に一生懸命慣れよう、ついていこうと気を張るあまりに、疲れが出たり大泣きをしたり、これまでになくお母様に甘えたりするといった反動が現れてくる時期です。

特に午後保育も始まり、これまでの家庭生活とのギャップに身体も心も少しずつ疲れを感じる頃、帰宅後は心身共に十分に休息を取り、ご家庭の温かな愛情で包んであげてください。また、併せて毎日幼稚園に頑張っているお子様をほめていただき、5月、いよいよ広がりを見せる園生活に前向きに取り組めるよう励ましてあげてください。

なお、ゴールデンウィークには家庭で親御さんの愛情をたっぷり受け、GW明けには「家にいたい、幼稚園に行きたくない」といった声が聞かれるかもしれません。4月上旬の様子に戻ってしまうお子さまも多くいらっしゃいます。慌てずにゆっくりと見守っていきたいと思いますので、お子様の様子に変化などがありましたらどうぞ担任までお知らせ下さい。

幼児教育の大先輩、道灌山学園の故高橋圭吾先生の言葉を紹介します。参考になさってください。

☆ほめ方

- ①本気でほめる。べたほめは効果がない。
- ②人がいてもいなくてもほめる。
- ③ほめるもとは何かはっきり言う。
- ④ほめられる人の立場でほめる。
- ⑤ほめる言葉を口ぐせに 「ごくろうさん」「ありがとう」



☆叱り方

- ①腹を立てて叱るな、怒るのは効果がない。
- ②叱られる身になり、あやまちは叱るな。
- ③叱る言葉は少なく、くどくど叱るな。
- ④叱ってはならない時がある（食事の前後、登園前、就寝前）

☆注意することよりほめること七題

- ①物言えば 注意の言葉多く出て 叱り言葉と まちがえられる。
- ②幼児には 注意を多くしていれば よい子になると 思うまちがえ
- ③よい時に しっかりほめる 事がよい ほめられただけ よい子になれる
- ④子育ての 上手の仕方 身につけて よい事見つけ 忘れずほめる
- ⑤悪い子に なりそうな時 手伝いをし しっかりさせて たくさんほめる
- ⑥注意より ほめることには 効果あり 身近のことを たくさんほめる
- ⑦ほめること 叱ることとを 比べると ほめる効果は 何倍もある

※言うまでもありませんが「叱るべき時に何も叱らない」ことはもっといけません。何事もバランスが大切です。子育てはお子さんの性格や状況によって幾通りもの接し方がありますので、決して正解があるわけではありません。また幼稚園のような集団とご家庭とでも異なります。しかし、時々読み返してみると、子どもへの対応を振り返りヒントを得ることがあります。

☆年中さん・・・

年中さんは、年少さんとの環境の変化に戸惑いを見せ不安になったり、活動の幅が広がるとともに友達との関係が深まっていく過程で、今までも違った様々なケンカも出てくる時期です。幼稚園生活3年間の中で、最も難しくまた大切な時期であるといっても過言ではありません。しかし、この時期の様々な葛藤が成長の証でもあり、周囲の大人が無理にこども同士の関係を引き離したり、避けてやり過ごすことは、子どもたちにとって何の解決にもなりません。子ども自身が正面から取り組み、頑張っ乗り越えていこうとする姿を見守り、勇気づけ、そっとサポートしていくことが大切と考えます。我々保育者も子ども達の「自分で向き合い、乗り越えようとする力」を信じサポートして参ります。

☆年長さん・・・

幼稚園生活を通して大きく花開く時期。特に2学期の運動会、音楽会、3学期の生活発表会のように、クラスの皆で力を合わせて何かを成し遂げるといった協同的活動が活発になり、その過程では協調性や思いやりなどを伴った“集団における問題解決能力”が大きく育っていきいます。また、身体能力と並行して、「少しのことへこたれない」精神的な強さ、逞しさ、忍耐力が育ってきます。更に、自然の変化や、生き物等への関心も、感覚的に捉えるだけでなく、科学的な視点から観察したり、探求心を持って調べたり、自分なりに筋道をたてて考えることができるようになります。こうして徐々に小学校へ向けた土壌が完成されていきます。子どもの「伸びようとする可能性」を信じ、勇猛果敢にチャレンジする精神を応援しながら、活発な園生活を促してあげたいと思います。

熊本地震義捐金について

このたびの熊本地震を初めとする大地震の義捐金活動を行います。職員室前に設置されておりますので、ご協力をいただけましたら幸いです。約1ヶ月を経て、八王子市私立幼稚園協会に取りまとめ、八王子市を通してお送りする予定です。よろしくお願い申し上げます。